

がんばろう 南三陸町 復興第 47 号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所

千葉総合印刷株式会社

本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068

志津川広報センター

企画・編集 千葉伸孝

南三陸町の 5 年間の総合戦略 住民説明会

1 月 25 日(月)午後 6 時 30 分から町役場 2 階会議室で、事務局の企画課地方創生・官民推進室の職員により、町の 5 年間の総合戦略案が説明された。会場には 30 名前後の住民が、町の計画する政策を熱心に聴き入っていた。

町の総合戦略の策定にあたり、産業界・町や国の関係機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア等、産官学金労言などに住民の代表者で構成される、「南三陸町総合戦略会議」を立ち上げた。官民連携と民間の活動を活性化する、プラットフォームとしての役割を担う。活動に「協働と連携」として、住民説明会の開催・パブリックコメントの実施などをおこなう。

南三陸町総合戦略施策として、町の将来像に、「森・里・海・ひと・いのちめぐるまち、南三陸」を上げた。序文として、「私たちは東日本大地震を経て気づかされた。森・里・海・ひと・いのちがめぐって生かされている事を、だから、私たちは、いのちめぐるまちをつくるため、ここに宣言します。」と唱えた。

● 私たちは地域の仕事(ちから)を輝かせます。
①第一次産業の就業支援・雇用促進の奨励など(町の仕事を輝かせる)
②地域交流拠点形成の推進など(観光・交流を促進する)
③町の創業支援(新たなしごとをつくる)
④(町のしごとを発信・共有する)
● 私たちはともに未来を拓く人々が集う家(ま



八幡川西岸の再建事業は

ち)をつくります。

①住民確保の推進など(移住・定住促進)
②地域おこし協力隊・感謝・絆プロジェクト(関係人口を増やす)
③集うまちの発信

● 私たちは、昔から自然のなかで、ともに支えあい世代(いのち)をつなぎます。

①子ども、子育て支援・子ども医療費助成・子育てクーポン配布など(子育てしやすいまちづくり)

②育英資金貸付制度・修学資金の貸付制度など(「学びたい」を実践する)

③まちの子育て・教育環境を発信、共有する

その他に、「官民連携で南三陸らしさを実現する」

①おらほの街づくり補助金など(民間活動のサポート) ②南三陸ブランドの育成と管理(南三陸ブランドを輝かせる地域シンクタンクの創設) ③まちの魅力を発信・共有

企画課地方創生・官民連携推進室の職員の説明に、集まった住民からの質問の機会を設けた。「子供が町に残りたいと言うが、働く場所がない、雇用の場を増やして欲しい」「町には 40 歳を過ぎた独身者が多く、町でも婚活対策に取り組めないか」「子供たちの進学にあたって、もっと充実した奨学制度の確立を」「町の復興に向かう説明会を、もっと多くの町民に伝わるよう周知を図ってほしい」など質問があり、ボランティア



歌津地区の教育環境は

で町に生活する方からも、希望や要望も出された。それに対し副町長が、質問に丁寧に答えてくれた。また、町から「将来の人口

推計」が示された。5 つのケースで 45 年後の人口を数字で表していた。27 年 12 月末で 13806 人で 45 年後の(2060 年)には、ケース 4(出生率向上・移動均衡「2030」)で 7143 人、ケース 2(出生率向上・移動縮小)で 5520 人、ケース 0(現状の出生率・移動率)で 4361 人と、5 種類のケースでの減少をグラフで想定していた。町は戦略会議で上げられた事業で、具体的な取り組みを粛々と進めて行きたいと話す。

議会と住民の懇談会(27 年 11 月) 〔傍聴記〕

町民の付託に応える南三陸町議会を作り上げるために、町民と議会が一体となった議会の改革や活性化を進める為に、「議会と住民との懇談会」を開催した。

昨年 11 月 10 日午後 6 時 30 分から、志津川中学校仮設集会所で開催の会場で傍聴をした。南三陸町議会は、3 つの班ごとに別れ 5 人体制で、南方仮設から町内の計 9 カ所で懇談会を実施した。訪れた志津川中学校仮設集会所には、約 25 名の町民が議員団の説明の後で、活発な質疑応答がおこなわれた。

現時点での南三陸町の復興状況が報告された。大型団地の完成予定は、伊里前・戸倉が 28 年 4 月、志東は 28 年 8 月、志中央が 29 年 4 月、志西が 28 年 10 月を予定していた。人口の推移として、平成 22 年 2 月(震災前)の「17666 人」から、27 年 8 月で「13952 人」と示され、3714 人の減少となった。その他、災害公営住宅の現状や、農業・漁業の復旧の進捗など、町の再建の細部に渡り報告があった。

(住民からの質問)

・息子が町に帰りたいが、住む場所はないのか。
・病院はどうなっているのか。
・中央区の整備が遅れているが、遺跡のためなのか。
(48 号に続く)

「伊里前商店街」今年 12 月に土地造成完了 「町開き」は来年 3 月を目指す



伊里前の商店街が市街地の嵩上げに伴い、小学校下から 200m 国道 45 号の向かいの盛り土した場所へ移転となった。向かいの伊里前川の水門の撤去も始まり、南三陸町内の水門は全てが撤去される。伊里前市街地のかさ上げ事業に伴い、歌津バイパスの残った部分も整備が進む。昨年 12 月の初め、歌津市街地の現風景を撮影した。商店に飾られたサッカー J1 の全チームのフラッグが撤去され、移転の準備が進んでいた。これで伊里前市街地の復興整備が本格的に始まる。

〔歌津地区の伊里前商店街の再建本格化へ〕

「歌津地区の伊里前商店街地かさ上げを年度内着工へ、南三陸町は予算の措置をした。」、こんな記事が気仙沼・本吉地区の三陸沿岸に

以前と変わらぬ商店街が
観光客・町民を迎える

配布されている、地元紙に掲載されていた。伊里前商店街の整備は、都市計画地域

外として国の復興交付金の対象外で予算のメドが立たなかった。その為にかさ上げなどの復興が遅れていた。

町は復興庁との協議の中で、事業費の一部を町が負担する事で、今年 1 月に「効果促進事業」として交付金の一部が認められた。町はかさ上げ工事請負費として今年度補正予算に 2 億 8 千万円を計上し、議決後に現在の仮設商店街を向かいの造成地へと、一時的に移転させ営業を続ける。

伊里前市街地の整備エリアは、「伊里前福幸商店街」のあった場所と向かいにかさ上げされた町有地 1.4ha で、県漁協歌津支所の用地 3500 m²と、商業用地として 2 千 m²で、現在の地盤高 2 m の上に 5 m を盛土かさ上げする。その他にイベント広場や駐車場、郵便局や金融機関の誘致を図る為、公的施設スペースを整備する。敷地北側に区画道路も配置する予定で、商店施設には 8 店舗が入居予定で、早ければ 28 年度内に旧市街地より 5.5m のかさ上げ完了を目指し、平成 29 年の 3 月の志津川商店街と同時期の「町開き」を予定している。

これまでの報道だと、志津川市街地の商店街の開業は 29 年 3 月を予定している。そんな中で歌津伊里前商店街のかさ上げ整備事業が見えなかった。そして今回、町から整備事業費の一部支出により、伊里前の商店街整備が前進する事となった。



地区町民の笑顔の輪を広げる

歌津地区の伊里前商店街が移転しても、継続して地区の再建と商店街の魅力をアピールし、南三陸町の志津川と歌津の商店街が、互いに独自の特色で競い合う事で、町の活性化となる。リピーターの観光客確保と繋げて欲しい。歌津地区へボランティアの定住も多く、町と地区の交流人口拡大へと繋がっている。2017 年の夏ごろに志津川地区に開業を予定するスーパーに、負けるとも劣らない商店街づくりが、南三陸町の二つの商店街に求められる。

〔仮設商店街 7 日再オープン〕

2 月 7 日(日)10 時から、仮設商店街が場所を移し再オープンした。テレビではテーブルカットに町長も参加しオープンを祝い、来年 3 月の整備まで営業を続ける。敷地は 810 m²で食品スーパーや酒店、衣料品店・理容店・電気店等 10 店舗が入っている。

オープニングセレモニーでは、太鼓の演技や地元鍋が来場者に無料で振る舞われた。高台の敷地は狭いながらも、多くの来場者で当日は賑わい、周辺の敷地を臨時的駐車場として、誘導員が国道の安全確保に大わらわだった。2 時を過ぎても買い物客が商店までの坂を上り、人が絶えなかった。(歌津の移転となった仮設商店街までは、志津川商工団地信号から 10 分で入り口の看板のある所まで行ける。)

歌津伊里前地区の
土地整備加速へ！

南三陸町の中学生の活躍に希望と元気をもらった！

中体連新人戦結果

野 球 1 回戦 志津川 3－0 唐桑
2 回戦 志津川 2－1 条南
歌 津 14－6 気仙沼
準決勝 志津川 3－0 大 谷
松岩・新月 10－9 歌 津
決 勝 志津川 8－7 松岩・新月
志津川が県大会へ

バスケットボール 男子
2 回戦 歌 津 60－41 松 岩
鹿 折 54－48 志津川
準決勝 津 谷 60－58 歌 津

バスケットボール 女子
1 回戦 志津川 67－19 面 瀬
2 回戦 志津川 72－14 気仙沼
準決勝 志津川 92－29 条 南
決 勝 志津川 66－48 津 谷
志津川が県大会へ

ソフトボール
決勝（出場2校）鹿折 17－0 志津川

卓球男子 団体 Bリーグ3位志津川
卓球女子 団体 Aリーグ5位志津川
Bリーグ1位歌 津
決勝トーナメント
準決勝 面 瀬 3－2 歌 津

バレーボール男子
面 瀬 2－0 志津川
志津川 2－0 階 上
3位 志津川

バレーボール女子
志津川 2－0 歌 津
津 谷 2－0 志津川
準々決勝 大 谷 2－0 志津川

剣道男子 団体 歌 津 3－1 志津川
志津川 3－1 唐 桑
歌 津 4－1 唐 桑
1位 歌津2勝 県大会へ
2位 志津川
個人 2年 1位千葉聖音（歌津）
県大会へ
1年 2位畠山楓斗（歌津）

剣道女子 団体 唐 桑 4－0 志津川
個人 3位 山内杏里（志津川）

サッカー
Aブロック 志津川 3－1 津 谷
志津川 3－0 鹿 折
Bブロック 新 月 5－0 歌津・大谷
条 南 5－0 歌津・大谷
準決勝 志津川 3－1 新月
決 勝 気仙沼 3－1 志津川

柔道男子 団体 志津川 3－2 気仙沼
志津川が県大会へ
個人 軽量級1位 山内聖哉（志津川）2勝
中量級1位 山内莉希（志津川）3勝
3位 阿部 渉（志津川）
重量級3位 佐藤 光（志津川）

柔道女子
個人 無差別級3位 小山里奈（志津川）

ソフトテニス女子
Bリーグ 志津川 2－1 唐 桑
階 上 3－0 志津川
準々決勝 松 岩 2－0 志津川

未来への教訓

復興！ 大津波の記憶を風化させない

平成27年（2015年）

9月の出来事

～ 地元報道より ～

◇東日本大震災の南三陸町防災庁舎職員の遺族が、業務上過失致死容疑として刑事告訴をしていた佐藤町長を、仙台地検は31日に不起訴処分とした。遺族側は不服として「検察審査会」に申し立てを視野に検討している。

◇南三陸町は防災対策庁舎の「県有化」にあたり、村井知事との協定の締結を1日におこなった。これにより平成43年3月10日までの20年間、震災遺構として一時保存が決定した。

◇津波で被災した旧戸倉中学校を3億5千万円をかけ改修し、戸倉地区の公民館にする事を町は決めた。被災教室は遺構保存や脅威や教訓を伝える展示室にし、音楽室は郷土芸能の練習室として活用する。施設は年度内の完成を目指す。

◇県は今季のサケ漁の来遊量を前年の8割と予測し沿岸網揚げも視野に入れての予想をまとめた。

◇米の概算金は今季から各農協で決定し、J A南三陸では11日に公表する。26年産米「ひとめぼれ」（1等米、60K）は、8400円だった。

◇5日秋季県高校野球郡東部地区大会で、志津川高校は石巻工業と対戦し、延長13回8対9でサヨナラ負けとなった。

◇南三陸町は気仙沼・本吉地区行政事務組合のふるさと市町村圏基金の一部（103万円）を取り崩し、町の基金残高は3230万円となった。9月定例議会で議員からリ阿斯・アーク美術館の利用・運営に対して意見が相次いだ。

◇町立南三陸病院と総合ケアセンターの落成式が11月25日に開催され、12月中のオープンを目指す。

◇南三陸町の町民の組織する「復興みなさん会」は、入谷災害公営住宅の入居者向け（51戸）に、入谷地区マップを作成し町に寄贈した。

◇東日本大震災からの早期復興への願いを込めた町内の小学校からのメッセージをもとに「未来へ」と、応援歌が完成した。大阪を拠点とするシンガーソングライターの寺尾仁志さん（46才）の支援で完成し、CD化も計画されている。9月町総合体育館で各学校から児童ら約350人が集まり、応援歌のお披露目を行った。

◇南三陸町の運送・水産加工・燃料供給の事業所が「支援物資の輸送は任せて」と、町と流通グループの間で応援協定が結ばれた。

◇南三陸町の人口減少対策として、仮設住宅を再利用した定住促進住宅の入居募集にあたり、募集5戸に対して6戸分の申し込みがあった。入居者の対象は40歳以下で1ターンなどの移住者で、30年3月まで家賃は半額減免措置をとる。

◇南三陸町は今後の観光振興の具体的な戦略策定に向け調査をする。民間のコンサルタント会社に委託し、来訪した観光客1千人からアンケートを取る方式で、予算に300万円を計上し調査をする。震災前の22年度は約108万人の観光流入も、震災の23年度は約36万と減少したものの、24年度には約89人と8割まで戻ったが、去年は約76万人と約11万6千人（12.3%）と震災の風化が見られた。観光客の動向・ニーズを分析し、ハード・ソフト両面での新たな施策に反映される。

◇J A南三陸で今年の「米の前払い金」がひとめぼれ60K1万円と回復した。

◇11日南三陸町内や登米市の仮設住宅で暮らす町民の作品展がポータルセンターで開催された。

◇南三陸町に京都市から「地域女性連合会」の会員180名が、12日に町を訪れた。被災地の風化防止を伝えようと、防災庁舎の視察と語り部から、震災時の教訓を学んだ。今度は志津川・歌津の商店街などの、南三陸町の復興の姿を伝えたいと話す。

◇南三陸町の26年一般会計決算議会で町民税や固定資産税などが10億9600万円となり、震災前の12億9千万円の8割まで回復した。一方、町の借金である町債は26年度末で114億9900万円となり、前年度より0.4%増加した。

◇南三陸署は14日、館浜・尾崎・田の頭の3地区の海岸線搜索活動をした。震災月命日の11日を予定していたが、台風による大雨のため延期していた。町内の震災による南三陸町の不明者は14日現在212人で、この内歌津地区は42人となっている。

◆気仙沼市の議会9月定例会で、企業会計決算委員会審査があり、水道・ガス・病院の各公営企業の26年度の決算審査で、ガス会計の職員1人当たりの平均給与が「988万円」という事に、厳しい経営状況の中で市民の理解が得られないと委員会で指摘があった。その後、実際の平均給与は612万円で、委託職員分などを含め計算していた。市の監査委員は誤解のないよう説明を工夫したいと話している。

◇J A南三陸の「南三陸米図画コンクール」で、入谷小5年の工藤遼祐君が最優秀賞に輝いた。

出品数は気仙沼・南三陸・登米各市町から99作品が集まった。

◇南三陸町、気仙沼市の仮設住宅にカビが発生した問題で、県の調査により8団地19戸を確認した。入居者に対しては換気の徹底を呼び掛けている。

◇南三陸町は県内陸部で発生した記録的な豪雨災害で、16日に2人の職員を栗原に派遣し、17日には総勢40人を2日間に分けて大和町に派遣した。東日本大震災の恩返しとしての支援を実施した。

◇歌津地区の被災した「仙台銀行歌津支店」が、28年4月再開を目標に本設再建の整備を進めている。場所は事業所の再建が進む枳沢地内の「ファミリーマート」の隣を予定している。

◇志津川高校（山内松吾校長）の情報ビジネス科の3年生が、町の魅力や歴史をかるたに創作した。「あ」はアウトドア神割崎でキャンピング、「り」はリ阿斯からキラキラ井を届けます、「え」は映画館芸術薫る十日町などがある。「南三陸思い出かるた」と銘打って、町内の小学校に寄贈する。

◇17日午前7時24分頃、チリ中部沖で「M8.3」の地震が発生した。チリでは最大4.8mの津波が観測された。日本へは8戸に18日午前6時8分頃30cm～1mが予測され、南三陸町でも情報収集にあたっている。

◇18日は大雨と津波襲来で、南三陸町内では冠水や土砂崩れ相次ぎ市街地や交通が混乱した。

◇南三陸町は、合併後初めての「名誉町民」として、元県議会議長高橋長偉氏（74）を推挙した。

◇宮城県の仮設住宅補修工事が南三陸町で始まった。集約化後も拠点団地として、長期使用が見込まれる志津川小・中学校、平成の森・吉野沢、登米市南方など10団地773戸を対象に基礎の木ぐい等の補強を行った。

◇南三陸町の歌津館浜漁港近くで、東北大の研究グループにより国内初の化石が発見され公表された。発見されたのは恐竜よりも古いシルル紀（4億4千万年前）から白亜紀後期（6600万年前）に生息していた。新種の「囊頭類（のうとうるい）」の化石。

◇27日ホテル観洋において、南三陸町歌津地区の「敬老会」が開催され、200人が集まった。町内の77歳以上（昭和15年4月1日以前）が対象で、2534人がいる。その内100歳は13人で最高齢は104歳だった。

〔9月、10月の出来事が前後しましたことをおわび申し上げます。〕